

# 専門学校 三つのポリシー

## 1. アドミッションポリシー(入学者受入れ方針)

博多メディカル専門学校の求める学生は、本校の建学の理念に共感し、自ら考え行動しようとする目的意識の高い人物です。具体的には次のような人を広く受け入れます。

- ・自律した生活を確立し、医療人として地域社会に貢献したいという高い志を持つ人
- ・自らの可能性を信じ、忍耐強く努力でき、夢を実現しようとする人
- ・穏やかで協調性に富み、仲間と共に新しいことに挑戦しようとする人
- ・感謝の「ありがとう」が素直に表出できる人

## 2. カリキュラムポリシー(教育課程の編成・実施の方針)

博多メディカル専門学校は、博多学園の建学の理念に基づき、心豊かな人間性と高い専門性を身につけた医療専門職を養成するために、以下の基本方針に基づき教育課程を編成します。

### <臨床工学技士科>

- 1)各学年での学習内容を確実に習得させるために、国家試験演習・模擬試験を繰り返し行い、3年間を通じた国家試験対策プログラムを設定します。
- 2)医療機器・医療設備について幅広い知識と技術を体得するために、実際の医療機器やシミュレータ、企業や現役の臨床工学技士による講義・実習などを積極的に取り入れ、専門技術・即戦力を身につけます。
- 3)臨床工学技士の業務の理解や知識・技術の定着のため、1年生での病院見学、2年生・3年生における臨床実習を実施します。
- 4)毎日の挨拶運動や教員との関わり、また看護学生との合同実習、高齢者との交流などを通じて社会人として求められるマナーやコミュニケーション力を身につけます。

### <歯科技工士科>

- 1)全教員が一丸となって就職支援を行い、それぞれの学生が希望する就職先に就くことができるよう学外活動で就職活動に関連した学校行事を多く設定します。
- 2)国家試験全員合格のため、シラバスに行動目標を掲げ知識の定着化を図ります。定期試験では到達すべき項目を出題基準として明確化します。
- 3)最先端歯科技工や超高齢社会に適した教育を企業と連携し次世代を担う歯科技工士を養成します。デジタル機器を用いた視覚評価で学生の成長段階をサポートします。
- 4)歯科技工の手技をスライドや動画で表し、細分化・概略評価を通じて苦手部分の理解を促します。質問と練習時間を設け学生がトレーニングする習慣をつくります。

### <歯科衛生士科>

- 1)人間性豊かで協調性や向上心、高いコミュニケーション能力を兼ね備えた歯科衛生士を養成するカリキュラムを編成します。
- 2)歯科衛生士教育のモデル・コア・カリキュラムに基づき、歯科衛生士として必要な知識と技術習得のため、講義と実習を相互に関連づけた実践的な科目を設置します。
- 3)知識・技術の習得段階に沿った臨床実習やライフステージごとの豊富な臨地実習を設定し、歯科衛生士として多種多様な場面で幅広い年齢層へ対応できる能力を獲得します。
- 4)国家試験への備えとして、年次毎に弱点や傾向を分析した万全な対策を講じます。

## 3. ディプロマポリシー(卒業認定・専門士授与に関する方針)

本校の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修得し、以下の能力を備えた学生に卒業を認定し、専門士の称号を与えます。

- ・専門領域における高度な専門知識と技術態度を修得し社会の発展のために寄与できる力
- ・医療チームの一員として、メンバー同士の協働、連携を促進するコミュニケーション力
- ・目的意識を常に持ち、問題を前向きに解決しようとする力
- ・医療人になろうとする向上心と優しさと思いやりにあふれた人間力